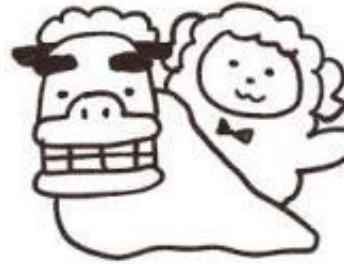


明けまして
おめでとうございます
昨年は大変お世話になりました。



今年もどうぞよろしくお願い致します。

どなた様も、おそろいで良き新年をお迎えのことと
心よりお慶び申し上げます。

昨日までのことはさておき、やはり年が明けると
目に映るものもキリッと引き締まり、
凍えるような寒さの中でも、背筋が心地よく伸びます。
大きく深呼吸をすると、
「よっ！やるぞ」と気合満々になります。
今年はどうなるのでしょうか。



さて、今年もモコモコと温かそうなヒツジ年です。
中国では「羊」は「祥」の字に通じており、吉祥動物とされています。

羊というと、広い草原でたくさん走っているような
イメージがありますが、羊は群れをなしてもケンカを
しないそうです。また完全なる草食動物であり、他の
動物に対して攻撃することもないため、平和のシンボ
ルとも言われています。



穏やかな性質の羊ですが、攻撃することがないため
危険に対する防御行動は「逃げる」の一手しかありません。
周りの状況をしっかり把握するために
羊には優れた聴力と視力があります。
特に視力については、視野が270°～320°もあり
頭を動かすことなく背後を見ることができます。

こんな羊ですが、羊は仏様の説話にも登場するので簡単にご紹介しましょう。

ある羊飼いが羊たちを餌場に連れて行くため、川を渡らせようとしてますが
羊たちがなかなか渡らないので困り果て、怒鳴ったり叩いたりして脅します。
そこへお釈迦様が現れて、黙って羊の群れの中に入り、一頭の子羊を抱いて川を渡
り始めました。すると、その子羊の親もお釈迦様の衣をくわえて一緒に川を渡り、
それに続いてすべての羊が川を渡りました。お釈迦様は向こう岸に着くと、子羊を
置いて、黙って去って行かれました、とさ。

もっとも弱い立場の者に足並みをそろえる羊の賢さ、
そして、川を渡らない羊の心を見抜き黙って手を差し伸べる
お釈迦様の優しさが伝わる いいお話です。
それぞれ物事には必ず原因があります。
子どもを叱る、人を批判する、その前に相手の心の中の原因を
羊やお釈迦様のように「眼」と「耳」で優しく見抜くことが
家族の安泰、ひいては世界平和へとつながるのではないのでしょうか



大智寺だより

平成 27 年 陸月
Vol.59

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi.ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去すべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

12月号発行部数
200部

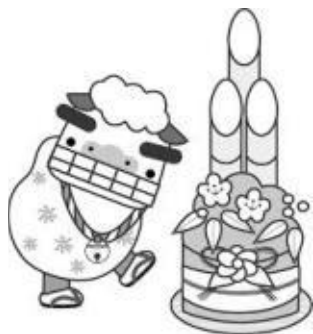
ご愛読
ありがとうございます

1月15日(木) ^{だいはんにゃえ}大般若会
禅寺の新年祈禱法要

10:00～法要・11:00～うどん接待・12:30～お焚き上げ



新年皆様にお配りする「大般若札」のご祈禱法要を、1月15日に行います。
法要では、近隣の和尚様方20名程が新年の安泰を願い
大声を張り上げて大般若経の転読を行っていただきます。
どなたでも法要にご参加いただけるので、どうぞお越しください。



祈禱法要の後には、お招きした和尚様方と一緒に
アツアツのおうどんを召し上がっていただきます。
禅宗の和尚様方は、何といってもおうどんが好き、おうどんが似合います。
大勢の和尚様とおうどんを食べるような機会は、めったにありません。
和尚様に負けず、皆様もたくさんおうどんを召し上がってください。
腕を鳴らして(笑)お待ちしております。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ㊦



「法要の日の流れ」

法要の日は、だいたいその後お食事を予定される方が多いので午前中に行います。

最近の傾向としては、

お食事を予定されず家族数人でなさる場合は 9:00頃～もしくは午後～

お食事を予定しないけれども親族を招かれるような場合は 10:00頃～

お食事を予定される場合は 11:00頃～

いずれも法要を行う曜日によって異なりますが、土日は大抵上記のようになります。

ただ、四十九日法要で納骨を予定される場合は、

11:00からの法要ではお食事が遅くなるため、10:00あたりから始めることが多いです。

法要の日程は、早い方ですと一年程前からお寺にご相談いただいております。

特に5月の連休などお休みが続く日程は、混み合う場合があります。

お盆やお正月など、ご親族が集まるような場で日程をあらかじめ相談されておくと
スムーズなのは、と推察されます。

さて、時間通り法要が始まると、40～50分程で読経は終わります。

そのためお食事処のバスを手配される場合は、読経終了時間を予測してご依頼しておきます。

法要後、集まられたお客様とバスに乗車し、お墓参りをします。

少しバスの運転手さんにお待ちいただくこととなりますが、

お墓参りに続いてお寺参りをします。

お寺では、お預かりしている亡き方の寺位牌を中央にお祀りしてありますので、ご焼香ください。

その後、ころばかりですがお寺でお茶をご用意しておりますので、ご一服いただき

再びお食事処のバスに乗車し、お食事会場へ移動なさるのが、一般的な流れです。

ご家庭とお寺・お墓との距離、法要なさる曜日、お客様のご事情など、個人差が当然ありますので、

法要の流れは、ご相談に応じて臨機応変に対応させていただいております。

法要の場所もご自宅に限らず、ホテルやお食事処、お寺でなさる方もいらっしゃいます。

ごご家庭とおお客様が気持ち良く亡き方を偲べる法要を、と願っております。



日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』

お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31 ページより

⑨

「むさぼり^お惜^いしみて^{ねた}嫉^そみ妬^うみ 憎^あ愛^い執^し着^う 誉^めそしり」

私たち人類は、火を使うことによって文明を発達させてきました。
火を扱うことによって、寒い時期に暖をとったり、煮炊きに使ったり、
今では火のない生活など考えられないようになりました。

でも使い方を誤ったり、必要以上使うと、自分では消化できず火事を引き起こすこととなります。

同じように私たちは一人ひとり、心に凡夫の火を持っています。

この火は「あれが欲しい」「もっとこうなりたい」と常に燃えています。

この凡夫の火があるからこそ、目標に向かってエネルギーに走っていきます。

でも自分でコントロールできないほど、この火が大きく膨らみ、火だるまになると

今回の箇所のように、ものをむさぼり惜しんで、人を嫉み、

憎んだり愛したりといった偏った心が芽生え、執着したり、ああだこうだと言う

自分ではどうしようもない困った状態になっていきます。

幼な子の 次第次第に 知恵付きて 仏に遠くなるぞ 悲しき（古歌）
いつも仏心の声に耳を傾けつつ、心の中の凡夫の火を上手に使いたいものです。



今月のひまわり

皆様、新春のお慶びを申し上げます。
寒さ厳しい日が続きますが、ご家族おそろいで
和やかに過ごしのことを存じ上げます。

さてお正月第一声は「あけましておめでとう」と気持ちよく挨拶をしますが、この「挨拶」とい言葉は、もともと禅問答からきた言葉でした。古来、禅僧同士は「禅問答」をすることによってお互いの禅の境地を確かめ合いました。禅問答では、一方が相手に言葉を投げかけて攻め込む「挨」があり、すかさずその言葉に対して、もう一方が切り返す「拶」がありました。「挨拶」は、禅僧にとって油断できない禅の力量勝負だったので、時を経て「挨拶」は日常語となり、私たちは幼い頃から人と挨拶することを親に教わります。

「稽古とは一より習い十を知り
十よりかえる もとのその一」（利休百首）
どんな道も、挨拶から始まります。挨拶を省略して物事を始めるような道はありません。
「おはよう」「こんにちは」「いいお天気ですね」
こんな何気ない挨拶に、今の自分の心を見せて
ふんわりと相手に届けると、魔法のように和やかな笑顔が返ってきます。

禅問答から「挨拶」という言葉が広まったように、挨拶は心と心の触れ合いを意味します。新年も「一度」もとのその「一」に戻り、相手を大切に思う心を挨拶に乗せて、多くの人と心かよわせることができれば、きつといい一年になるのではと
思う今日この頃です。

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

肩の力を抜いて 気の張らないかき揚げ

- ① ネギの青い部分2本分くらいを3cm程に切っておく。
- ② さつまいも40gを皮つきのまま薄めに3cm×1cmほどの短冊切りにする。
- ③ ボウルに青ネギとさつまいもを合わせ、小麦粉大さじ1を混ぜる。
- ④ 別のボウルに小麦粉大さじ4、溶き卵半、水小さじ2程混ぜ合わせ青ネギとさつまいもを加えてからめる。
- ⑤ 油をたっぷり熱して平たくカラリと揚げたら、出来上がり。



ネギの白い部分は鍋や薬味に使うけど、青い部分はある程度ためておいて使うんやよ。1月は何かと疲れるので、家族だけなら気張らずにこんなんでもええんやて。



～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第二十二回：生活信条 その③

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



日々の生活を送る中で、私達はどのように臨済禅の信仰を実践していけばいいのかその心のよりどころとして、妙心寺では「生活信条」を全檀信徒に示しています。

三ヶ条ある中の三つ目が、「生かされている自分を感謝し 報恩の行を積みましょう」

人は、「生きている」という現実を、つい自分が保っているものと思いがちですが、記憶をたどっても「生まれよう」と意思をもって生まれてきた人はいませんし自分の意思とは関係なく、死は突然やってきます。こうして考えてみると、人生の始まりも終わりも自分の力など及ばない受け身なものです。そして人生の真っただ中も、衣食住何をとっても「生かされている」ことに気づきます。

「恩」という字は、「因」と「心」から成り立っています。

「因」は、誰かが敷いてくれた布団に自分が大の字に寝ている姿、「因」の下に「心」があるのは、誰かの心が自分を支えてくれていることを表しています。

私たちは、自分を支えてくれている誰かの心によって、生かされています。

そのことに感謝しつつ、常にその恩に報いることを心がけることが臨済禅の信仰の実践、つまり禅修行につながると示されています。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

1月25日(日) (内300円は義援金)
(朝8時～9時) 一回500円
要申込

12月写経会 備忘録

2014年もあと数日で暮れようとしている12月の写経会、寒い中お越しいただきありがとうございました。この写経会では今年一年で3万円の義援金を東北に送ることができました。東日本大震災は過去のものではなく、今も続いている、今も苦しんでいる人がいるという気持ちで、来年も心をこめてお写経できればと思います。一年間、ありがとうございました。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。